

＜普段の学校の様子から ～毎日、うれしい発見がたくさんあります。その一部を紹介します。～＞

サッカーW 杯がスペインの優勝で幕を閉じました。寺家小学校では、日本対スウェーデンの試合の後半を体育館で観戦しました。緊迫した接戦で、日本が先取点を取った時の子供たちの盛り上がり、また、同点になった後の子供たちから沸き起こった「ニッポン、ニッポン、ニッポン…」というみんなが一体となった応援は、戦っている代表チームにも届いているのではないかなと思うほどでした。さて、この日は、その後、全校の大縄跳び大会を行いました。応援がとてすばらしかったです。自分のクラスだけではなく、頑張っている他のクラスへの応援もあり、すごく盛り上がっていました。応援が誰かの(自分の)力になることを実感した一日でした。

子供たちが、「頑張っている友達へ」「頑張っている自分へ」「頑張りたいと思っている友達へ」「頑張りたいと思っている自分へ」「頑張る勇気がでない友達へ」「頑張る勇気が出ない自分へ」等、熱い応援、優しい応援、温かい応援、さりげない応援が溢れる寺家小学校になると嬉しいなあと思います。

職員室前に新しく「ミニ竹とんぼ」を置きました。アイスクリームの棒と竹串でつくった超軽量竹とんぼです。低学年でも安全に上手に飛ばしています。遊ぶ子供たちがそれぞれ工夫しながら競い合ったり教え合ったりしています。やればやるほど上手になる「ミニチャレンジサイエンス」です。誰か竹とんぼの研究をしてくれないかなあ。さて、この竹とんぼですがつくり方はとても簡単なので紹介します。時間があるときにお子さんと一緒につくってみてはいかがでしょうか。

◆準備する物

1. アイスクリームの棒、または、木製のマドラー(100円ショップで50～100本入り等が購入できます。もちろんアイスクリームを食べた後の棒でもOKです。)
2. 竹串
3. その他、道具として、カッター、キリ、紙やすり、瞬間接着剤

◆つくり方

1. アイスクリームの棒の中心にキリで穴(竹串より細い穴)をあける。
2. アイスクリームの棒の両面の黒い部分を外側が薄くなるようにカッターで削り、横から見るとねじりが出るようにする。(きれいに削らなくても紙やすりできれいに仕上がります。)



表



裏

3. カッターで削った部分を紙やすりで削り、面を整える。
4. アイスクリームの棒の中心の穴に竹串をしっかり差し込む。
5. 上手く飛ばそうなら竹串を瞬間接着剤で固定し、とがった先端を切る。(後から、調整も可能です。)

◆飛ばし方は、簡単です。竹串を両方の手のひらで挟んで揉むように右手をずっと前へ出すと飛びます。

夏休みは、普段は時間がとることができないことにチャレンジするよい機会です。子供たち一人一人が目当てをもって大切な時間を過ごしてくれることを期待しています。また、大切なのは、心身の健康です。リズム正しい生活の中で、色々な体験をし、心の栄養もたくさん補給してほしいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

2学期も子供たちにご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 椎名 千里